

指定校番号	30031	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	---	-------	------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	東 秀樹	生徒指導主事	望月 貢樹
-----	-----------	----	------	--------	-------

**取組事例名 『縦割り運動会・文化祭・掃除』**

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「思いやり」	3	「自律」	2	「主体性」	1

**取組のねらい『キーワード：主体性・リーダーシップ』**

○「縦割り活動を通して、3年生のリーダーシップを育成すれば、主体的で自律的な活動ができるであろう。」という仮説を設定して取り組むこととした。また、異学年交流をすることでお互いを認め合い、助け合う気持ちを育むことも目指した。

**取組の具体的内容『キーワード：目標と振り返り・思いやり』**

**【清掃活動】**

○今年度は縦割り清掃を仕組むこととした。1学期は担任が中心となって生徒の掃除場所の割り振りを行った。また、全校集会で、縦割り掃除の意義や目的、掃除の方法などを職員も含め説明し、確認後スタートした。3学期の新生徒会執行部体制は、生徒の主体性を尊重した新たな取組を行っている。具体的には、掃除スタートチェックに取り組んでいる。毎日、掃除の始まりの時間に掃除場所に来ていなかった生徒チェックして職員室前にチェック表を掲示している。



**【運動会】**

○縦割りの運動会は今年度で3年目となる。今までの経験を踏まえ、ソーランリーダー、組体操リーダー、実行委員などへの取組を行った。更に今年度は応援合戦を取り入れ、より多くの場面で3年生を中心とした取組を行った。そして、帰りの会で「楽しんで取り組む」「仲間と協力して」「目標を持って取り組み」「誇りを持って取り組む」の四項目の振り返りを行った。各自で振り返りを行うことで、自律を促すことができた。



**【文化祭】**

○昨年度から、文化祭（合唱コンクール）も縦割りで行っている。クラス合唱と縦割り合唱の取り組みを行っている。昨年度の課題は「他の人の発表を静かに聞くことができない」であった。その解決に向けて生徒会執行部が積極的に案を出したことが成果につながった。また、運動会に続き、文化祭でも毎日帰りの会で「楽しんで取り組む」「仲間と協力して」「目標を持って取り組み」「誇りを持って取り組む」の四項目の振り返りを行った。結果、すべての項目について90%程度の肯定的評価になっていた。

**取組の課題・創意工夫『キーワード：配慮と支援』**

- ①真剣に取り組めない生徒が固定化されていた。
- ②リーダーシップを発揮しにくい生徒がいる。

以上の解決に向けて次のような取組を行った。

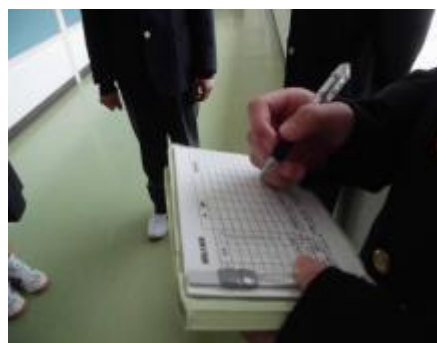
- ①積極的に活動できない生徒をリストアップし、具体的に対応・支援を協議し、より具体的な役割分担と仕事内容の明確化を行い、活動への参加を促していった。その結果多くの生徒に改善が見られた。
- ②担当教員にしっかり見てもらい、より丁寧な指導を行うことで改善が見られた。また、清掃活動については学期に1度のメンバーの再編成で配慮を行った。
- ③自己評価、他者評価を用い、各自の役割・目標を明確にした。

### 取組の成果（効果）『キーワード：つながり』

#### 【清掃活動】

- 多くの掃除場所で担当の職員がいなくても、3年生を中心に清掃活動と振り返りまで行っている。
- 真剣に清掃活動に取り組んでいる生徒が増えている。
- 異学年交流が進み、人間関係の広がりや深まりが見られた。  
(生徒の感想)

- ・掃除時間の自分の責任を感じて今まで以上に取り組んでいる。
- ・先輩がやさしく接してくれてうれしかった。
- ・学期を通して同じ掃除場所なので、自分の仕事ははっきりした。
- ・後輩の真面目に取り組む姿を見て、自分も頑張らないといけないと思った。



#### 【運動会】

- ・新たな取組（応援合戦）も加わり、生徒の活躍の場が増えた。
- ・仲間と協力する大切さを感じさせることができた。

#### 【文化祭】

- ・特に合唱コンクールは盛り上がり、今まで課題であった他のクラス、学年の発表を静かに聞くこともできた。
- ・毎日の振り返りを通して、自らの行動を見つめ、より良い行動をしようとする生徒が増えた



### 今後の展開『キーワード：自律』

- 数名の生徒が清掃活動に参加できていない状況がある。特別支援教育の視点も含め、すべての生徒が主体的に清掃活動に取り組めるようにしていきたい。そのために今後生徒会執行部とも連携しながら清掃活動のあるべき姿（見本）を示しながら定着を図っていきたい。具体的にはDVDを作成し、新入生・在校生に示していくことを考えている。

### 他教科との関わり『キーワード：意図的』

※すべての教科・教育活動においては、意図的に縦割り活動（掃除）の意義・効果について触れていくようにしている。

【技術・家庭科】第1学年で整理整頓の必要性について学習をする。

【道徳】「主体性」の資質・能力に関わる授業を展開するときには、縦割りで行われる活動に絡めた話に触れていくようにしている。

【学活】教育センターのチャレンジサポート事業を受けて、「一人一人に思いをつなげる運動会・文化祭をつくり上げよう」という課題を設定し取り組んだ。